

ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
両丹支部長 倉垣 誠
(京都府立西舞鶴高等学校長)

平成23年度、京都府高等学校体育連盟両丹支部長の大役をお引き受けするにあたり、その職責の重さに大変不安を感じておりましたが、山本誠三会長をはじめ多くの皆様方の御指導、御支援をいただきました。とりわけ京都府高体連事務局や両丹支部の皆様方には格別の御協力をいただき、何とか本年度の任務を終えることができ、関係のすべての皆様方に厚くお礼申し上げます。

今年度の高体連両丹支部関係の行事につきましては、主たる事業である両丹高等学校総合体育大会、両丹高等学校駅伝競走大会をはじめ、すべての各専門部の試合・行事等を役員や部顧問の皆様方の御尽力で無事成功裡に終了させることができました。改めて感謝申し上げます。

昨年3月11日に発生しました東日本大震災から1年が経過しました。しかしながら復旧復興は遅々として進まず、昨年12月末の段階で、自校以外の施設設備を借りて授業をしている学校が約100校あると聞いています。私たちは、何不自由なく通常の学習やスポーツに専念できることに感謝し、精一杯生きていかなければならないと改めて感じているところです。

さて、今年度も両丹地域出身の生徒の皆さんの活躍が顕著な年でした。都道府県対抗全国女子駅伝には、綾部高校の久馬萌さん・悠さん姉妹が出場し、全国2位と活躍してくれましたし、同じく男子駅伝には、綾部高校の清水勇君が出場し健闘してくれました。

また、団体競技においては、福知山成美高校がサッカーで全国高校総体に初出場、綾部高校が男子ソフトボールで選抜大会に3年ぶりの出場を果たしました。個人においては、レスリングでは国民体育大会において、網野高校の伊藤和真君が60kg級優勝、全日本ジュニアレスリング選手権大会において、網野高校の高谷大地君が54kg級優勝、全国高校総体においては、同じく網野高校の水野真斗君が66kg級で優勝し、ウエイトリフティングでは全国高校女子ウエイトリフティング選手権大会において、加悦谷高校の西尾里菜子さんが69kg級で優勝、さらには全国高校定時制通信制体育大会に陸上競技や卓球、ソフトテニスの部で多くの選手の皆さんが出場するなど大活躍しました。

このような選手の活躍は、他の選手にとって大きな励みとなり、両丹地域の体育スポーツ全体のレベルアップにつながり、大変喜ばしいことです。これも常日頃から熱心に指導いただいている各校の顧問の先生方をはじめ、学校、保護者、地域の皆様のお陰と感謝申し上げます。

一方、生徒数の減少等により部活動加入率が低下傾向にあるのは大きな課題です。部員不足で大会に参加できないチームがあったり、大会運営が困難な競技が出てきたりしています。高校生の心身の健全な発達と人格の陶冶において、運動部活動の果たす役割はきわめて大きいものがあり、両丹地域の運動部活動が一層活性化しますよう、今後とも御協力をお願いする次第です。

結びに、両丹支部長の今年度の任を終えるにあたり、御協力、御支援いただきました関係の皆様方に感謝申し上げますとともに、高体連両丹支部の一層の発展と皆様方の御健勝を祈念してあいさつとさせていただきます。